

研究構想シート	学校名	奥出雲町立八川小学校
	氏名	安部 浩美
<b>A 研究主題</b> 主体的に学習に向かい 友達と伝え合う八川っ子の育成をめざして～分かる喜びを感じ 深い学びにつながる授業づくりを通して～		
<b>B 研究の目的</b> 国語、算数、自立活動等を中心とした授業改善を行い、自ら学ぶ意思を持ち、人間性豊かで たくましい八川の子の育成をするため。		
<b>C 子どもの実態</b> ○自分の考えに自信がない。十分に記述できない。 ○話を聞く姿勢、態度が身につけていない。 ○思いついたことを思いついた順に話すため、伝えたいことが明確になっていない。 ○伝え合うのではなく、1問1答で終わることが多い。	<b>E 手立て・内容（研究仮説）</b> ①「言葉」について意識し、適切な言葉を使って正しく伝えることができるための指導 【仮説1】ペア学習等を通して、言葉に触れる機会を多く設定し、言語活動を多く取り入れることで、進んで言葉と関わるようになり、適切な言葉を使って正しく伝えることができるであろう。 ②相手意識を大切にした主体的な「伝え合い」活動の工夫 【仮説2】相手意識・目的意識を高めるための活動や場の工夫をすることで、お互いの考えや気持ちを的確に伝え合うことができるであろう。	<b>D めざす子どもの姿</b> ○ペアやグループ等全体での話し合いで、困っていることや自分の考えを表現したり、相手の考えを聞いたりすることによって、自分の考えを確かなものにし、相手の考えを理解する。 ○学ぶことに興味や関心を持ち、児童自らが課題解決に向けて、見通しをもちながら粘り強く取り組む。
	<b>F 検証方法</b> OPCやノート、ワークシートの記述を基に子どもの変容を見取る。	
	<b>G 研究計画</b> ○子どもの実態、めざす姿、手立てを職員みんなで考える。 ○各学年部で授業を見合い、改善していく。 ○アドジャンを2週に1回3～4人グループで15分継続して行う。 ○研究職員会議で振り返る。	